

横浜市防犯のまちづくり推進条例を制定するとともに 横浜市防犯のまちづくり推進プランを策定しました

近年、犯罪件数の増加や犯罪手口の多様化・巧妙化などにより、市民の安心・安全な暮らしが脅かされています。

こうした中、誰もが安心して安全に暮らすことができる社会を実現するため、「横浜市防犯のまちづくり推進条例」を制定するとともに、本条例の目的を達成するための基本計画として「横浜市防犯のまちづくり推進プラン」を策定しました。

1 「横浜市防犯のまちづくり推進条例」及び「横浜市防犯のまちづくり推進プラン」の概要

「横浜市防犯のまちづくり推進条例」は、誰もが安心して安全に暮らすことができる社会を実現するため、防犯のまちづくりについて基本理念を定め、市の責務や市民・事業者等の役割を明確にするとともに、防犯のまちづくりを総合的かつ計画的に推進するための基本事項を定める条例です（6月12日施行）。

「横浜市防犯のまちづくり推進プラン」は、本条例の目的達成に向け、総合的かつ計画的に施策を推進するための基本計画です。

表1 条例とプラン体系図

条例	防犯のまちづくりに関する ・基本理念、市の責務、市民・事業者・地域活動団体の役割等を明記 ・計画を策定することについて規定	総合計画
横浜市防犯のまちづくり推進条例		横浜市中期計画 2026～2029 政策群 01 毎日の安心・安全 施策群 1 防犯、歩行者の安心・安全
▼ 目的達成に向け総合的かつ計画的に施策を推進するための基本計画(条例第7条)		▼ 中期計画と連動
計画	・条例の目的を達成するため、防犯のまちづくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進 ・今日的な課題に対応するため、「データの活用」や「DXの推進」による施策を推進 安心を実感できる・安全を届ける “スマート防犯シティ横浜”	
横浜市防犯のまちづくり推進プラン		
第1期 計画期間 <2026～2029年度>		

表2 プランが推進する3つのビジョン

ビジョン1	DX※1により防犯力が向上するまち 先端技術で守る IoT※2やICT※3等の先端技術を活用した「スマート防犯」の推進により、暗がりの解消や見守りの強化など、戦略的な防犯インフラの整備等を行います。
ビジョン2	スピード! × データ活用による防犯対策を推進するまち 迅速・的確な防犯データで守る 防犯情報をデータ化・分析することで、必要な情報が、「必要な人に」「適切に」「迅速に」届く環境を構築します。
ビジョン3	誰もが防犯対策の主役となるまち 自分たちのまちは自分たちで守る 約375万人の市民をはじめ、約3,000の自治会・町内会、防犯協会、民間事業者、神奈川県警察等が連携し、地域コミュニティのつながりを深めながら、市と協働して防犯活動を推進します。

※1 「DX」 デジタル技術を用い様々な課題を解決し、新たな価値を生み出す変革
 ※2 「IoT」 機器をインターネットにつないで情報を把握する仕組み
 ※3 「ICT」 情報通信を活用した情報の管理・伝達の技術

2 条例及びプランの詳細

条例及びプランの詳細については、下記本市WEBサイト・QRコードをご覧ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/bousai-kyukyu-bohan/bohan/oshirase1/jyoureiplan.html>



お問合せ先
地域防犯支援課長 佐藤 Tel 045-671-2601



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

